ＪＩＣＡ2018年度トルコ国別研修
「地域開発に係る地方行政官の能力開発Ⅴ」コースを受け入れました。

北海道開発局は、平成３０年７月１９日から８月１０日にかけて、トルコ共和国内務省の行政官１２名が参加するＪＩＣＡ主催の「地域開発に係る地方行政官の能力開発Ⅴ」研修（受託機関　公益財団法人はまなす財団、コースリーダー　小磯修二氏）を受け入れました。

トルコでは地域格差を是正するために、各地域の資源や特色を有効に利用した地域開発のビジョンが必要とされており、県知事、郡長として地方を統治する内務省地方幹部行政官は、広域的な地域開発の知見を深めることが求められています。

ＪＩＣＡからの依頼を受け、北海道開発局は、国が注力した北海道総合開発の経験を伝えることはトルコにおける地域開発の質の向上に資するとの考えにより、現役の副知事または郡長を務めるトルコ内務省の行政官を対象とした本研修の実施に協力いたしました。

なお、本研修は平成２８年度に１回、平成２９年度に２回実施されており、今回で４回目の開催となりました。

【研修の様子】

研修プログラムは、北海道総合開発の紹介をはじめとして、道の駅、シーニックバイウェイ、民族共生の象徴となる空間の整備等、当局が実施する事業について、職員が講師となり講義を実施しました。そのほか、先進的な地域開発の取組について学ぶため、地方自治体や様々な団体にご協力を賜り各地を視察しました。８月１日に訪れた恵庭市では、原田市長から町の政策について説明を受けた後、意見交換の時間を設けました。

研修員に実施されたアンケートによると、多くのプログラムが有益だったと評価され、当局が協力した分野では、日本における道の駅の取組が大変役に立ち、帰国後は道の駅を参考にしたプロジェクトに取り組みたいというコメントがありました。また、視察においても熱心に写真を撮る姿が見られるなど、精力的に研修に取り組む様子が見られました。

北海道総合開発の体制についての講義

恵庭市長との意見交換

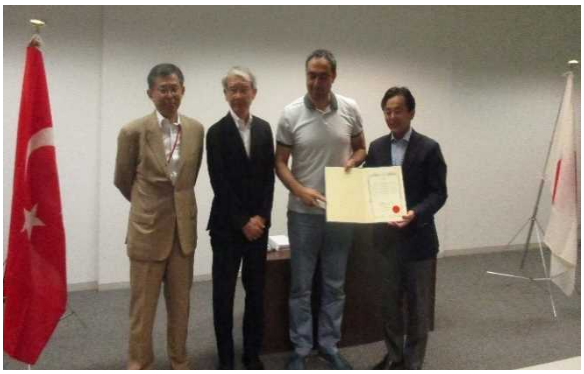
【アクションプラン発表会】

発表する研修員

研修最終日に開催されたアクションプラン発表会では、北海道で学んだ地域開発事例を活用し、トルコにおいてどのような事業を実施するのか、研修員が一人一人発表しました。

発表後はコースリーダーとして初回から本研修に携わる前釧路公立大学学長　小磯修二氏から総評及び各研修員へのアドバイスをいただき、研修の成果を確認しました。

【閉講式】



JICA 北海道 次長から修了証書の授与

研修員代表の挨拶

研修員との集合写真

※写真提供　はまなす財団

３週間の研修も無事終了し、８月９日に閉講式を迎えました。

JICA 北海道次長から各研修員に修了証書が授与され、北海道開発局からは開発監理部次長が本研修協力機関として挨拶を申し上げました。研修員代表からは、本研修関係者への感謝の意と、研修内容を今後の業務に活用していくことへの抱負が述べられました。

北海道総合開発の取組や、各地の地域開発の取組がトルコにおいて活かされることが期待されます。